

大使館情報 (政治経済情勢、トピックス、大使館からのお知らせ)

2024年4月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢
- (2) 経済政策等
- (3) 金融政策
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢 (3月の出来事)

【内政】

- (1) ルーラ政権の支持率が低下
- (2) ボルソナーロ前大統領を文書偽造等の容疑により立件

【外交】

- (1) ルーラ大統領の第8回 CELAC 首脳会合出席
- (2) 伯ベネズエラ首脳会談
- (3) 伯スペイン首脳会談
- (4) ヴィエイラ外相のパレスチナ訪問
- (5) 伯ロシア外相電話会談
- (6) 伯フランス首脳会談

3. トピックス

- (1) 林大使のジャパンハウス・サンパウロ展示会「DÔ: a caminho da Virtude (道: 徳の極みへ)」開会式への参加 (2月26日)
- (2) 林大使の滋賀県訪問 (3月4日)
- (3) 林大使のマット・グロッソ・ド・スール州公式訪問 (3月25~26日)

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 在伯公館 SNS リンク一覧
- (2) 外務省 海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢（3月発表の経済指標）

- (ア) 2月の鉱工業生産は前月比▲0.3%、前年同月比+5.0%となった。
- (イ) 1月の小売売上高は前月比+2.5%、前年同月比+4.1%となった。
- (ウ) 2月の拡大消費者物価指数（IPCA）は前月比+0.83%となった（前月：+0.42%）。12か月累計では+4.50%となった（前月：+4.51%）。
- (エ) 失業率（2023年12～2024年2月）は7.8%となり、3か月前（2023年9～11月）の7.6%から上昇した。また前年同期（2022年12月～2023年2月）の8.6%から0.8%ポイント低下した。
- (オ) 伯中央銀行が週次で発表しているエコノミスト等への調査（Focus調査）について、3月28日時点で、GDP成長率予測については、2024年は+1.89%（前週から0.04%ポイント上昇）で、2025年は+2.00%（前週から変わらず）となった。インフレ率については、2024年は3.75%（前週から変わらず）で、2025年は3.51%（前週から変わらず）となった。

(2) 経済政策等

- (ア) 財務省は2024年の予算に関する最初の分析報告書を提出、それによると2024年のプライマリーバランスはGDPの▲0.1%に相当する93億レアルの赤字となり、政府は赤字幅を改善する為、29億レアルの支出を削減することを発表した。
- (イ) 財務省税制改革担当特命次官のベルナルド・アピ氏は、3月26日、消費関連の税に関する補足法について4月中旬に議会に提出される見通しを示した。

(3) 金融政策

3月19日及び20日に開催された伯中央銀行金融政策委員会（Copom）において、政策金利であるSelic金利を50bp引き下げて10.75%とすることが決定された。次回会合は5月7日及び8日に開催予定。

(4) 為替市場（レートは伯中銀の公表値から算出）

- (ア) 3月の為替市場は4.94～5.03レアル/ドルで推移。
- (イ) 月の前半は4.94～4.99レアル/ドルで推移。海外の金融政策の見通しを材料に概ねレアル安方向に推移した。
- (ウ) 月の後半は4.98～5.03レアル/ドルで推移。伯経済や海外の金融政策の見通し等を材料に概ねレアル安方向に推移した。

(5) 株式市場

- (ア) 3月の株式市場は126,124～129,180ポイントで推移。
- (イ) 月の前半は126,124～129,180ポイントで推移。資源価格の動向や国内経済の動向等を材料に概ね下落傾向で推移した。

- (ウ) 月の後半は126,863~129,125ポイントで推移。資源価格の動向や海外経済の動向等を材料に概ね横ばいで推移した。

2. ブラジル政治情勢 (3月の出来事)

【内政】

(1) ルーラ政権の支持率が低下

Ipec社が3月1日から5日にかけて2千人を対象に実施した世論調査によると、ルーラ政権に対する評価の内、「非常に良い/良い」は昨年12月の38%から33%に低下した。「普通」は33%、「悪い/非常に悪い」は32% (2ポイント増)であった。「非常に良い/良い」は、41%を記録した昨年3月以降最低で、「悪い/非常に悪い」(昨年3月は24%)は最高となった。

(2) ボルソナーロ前大統領を文書偽造等の容疑により立件

19日、連邦警察は、ボルソナーロ前大統領が自身の新型コロナワクチン接種証明書を偽造した疑惑に関し、ボルソナーロ前大統領、マウロ・シディ同前大統領付副官等17名を文書偽造、偽造文書使用、犯罪組織結社罪等の容疑により立件した。マウロ・シディ同前大統領付副官は、警察の取り調べに対し、「ワクチン接種証明書の偽造は、ボルソナーロ前大統領の指示により行った」と供述している。

【外交】

(1) ルーラ大統領の第8回 CELAC 首脳会合出席

3月1日、ルーラ大統領は、セントビンセント・グレナディーン諸島を訪問し、第8回 CELAC 首脳会合に出席した。ルーラ大統領は、ラ米・カリブ諸国に対し、国際機関や交渉の場で協力すること及び持続可能な社会開発とエネルギー転換に対する関心を持つことを呼びかけ、また、イスラエルとハマスの紛争の即時停戦に関する動議を要求する演説を行った。

(2) 伯ベネズエラ首脳会談

3月1日、第8回 CELAC 首脳会合のマージンにおいて、ルーラ大統領は、マドゥーロ・ベネズエラ大統領と会談を実施した。会談では、経済状況、二国間貿易、国境地帯での違法採掘を抑制するためのパートナーシップ、ベネズエラ大統領選挙について協議された。

(3) 伯スペイン首脳会談

3月6日、ルーラ大統領は、サンチェス・スペイン首相とブラジリアで会談を実施した。会談では、スペインの対伯投資、エネルギー転換、EUメルコスール FTA、ウクライナ紛争、中東危機等について協議された。

(4) ヴィエイラ外相のパレスチナ訪問

3月17日、ヴィエイラ外相は、アッバース・パレスチナ大統領と会談を実施した。会談では、イスラエルとパレスチナの紛争の現状とガザの深刻な人道危機について協議された。

(5) 伯ロシア外相電話会談

3月26日、ヴィエイラ外相は、ラブロフ・ロシア外相と電話会談を行い、「クロッカス・シティ・ホール」襲撃事件の犠牲者への哀悼の意と、ブラジルはいかなるテロ行為も非難する旨を伝えた。また、両外相は、3月25日に採択されたガザ地区での即時停戦を求める安保理決議を含む、同地区における最新の情勢について意見交換を行った。

(6) 伯フランス首脳会談

3月28日、ルーラ大統領はマクロン・フランス大統領と会談を実施した。マクロン大統領は26日から28日にかけて、ベレン市、イタグアイ市、サンパウロ市、ブラジリアの4都市を訪問した。ブラジリアでは、両国間のさまざまな取決めや協定の署名が行われた。今回の訪問は、歴史、政治、文化及び経済的な関係を強化し、特に環境問題や気候変動との闘いに関する両国間の共同行動計画を拡大するものであった。

3. トピックス

(1) 林大使のジャパンハウス・サンパウロ展示会「DŌ: a caminho da virtude(道：徳の極みへ)」開会式への参加(2月26日)

2月26日、林大使はブラジリアのブラジリア美術館(MAB: Museu de Arte de Brasilia)で開催されているジャパンハウス・サンパウロ展示会「DŌ: a caminho da virtude(道：徳の極みへ)」(在ブラジル大使館共催)の開会式に参加した。

冒頭、林大使、ジャパンハウス・サンパウロ館長代理及びMAB館長より挨拶を行い、その後、当地武道団体(剣道、空手、合気道、柔道)によるデモンストレーションが行われた。同展示会は4月28日まで開催され、日本の武道の歴史、技術、哲学を説明するとともに、武道の鍛錬を行う中で得られる礼の心や強靱な精神性を紹介しています。また、毎週末、ブラジリアの武道団体がワークショップを実施する予定となっています。



林大使及び関係者の挨拶



展示の様様



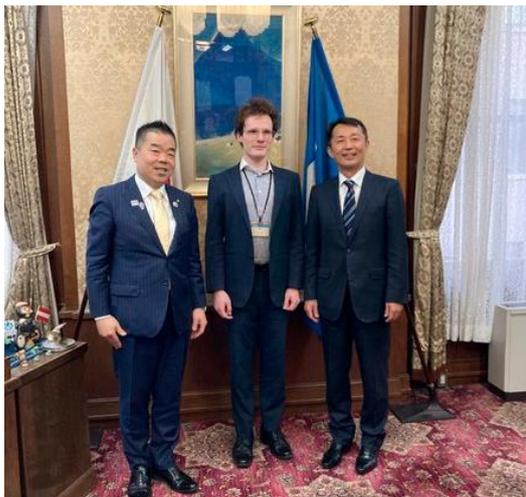
デモンストレーションの様様

(2) 林大使の滋賀県訪問 (3月4日)

林大使は用務帰国の機会を捉え、3月4日滋賀県を訪問し、三日月大造(みかずきたいぞう)滋賀県知事他と会談し、滋賀県と姉妹関係にあるブラジルのリオ・グランデ・ド・スール州との交流の活性化や協力、在住ブラジル人の支援、在ブラジル滋賀県人会等について意見交換を行った。また、JETプログラムの国際交流員として滋賀県庁に派遣されているギマラインスさんとも意見交換し、激励した。

滋賀県庁訪問に先立ち、林大使はブラジル人が人口の約3%をしめる愛荘町を訪問し、有村國知(ありむらくにとも)町長他と会談し、町が進める多文化共生の取り組みやブラジル人住民の支援等について意見交換を行った。

その後、ブラジル人家庭の0歳から18歳が通う「サンタナ学園」を訪問し、関係者から学園の運営状況や支援の必要性等について話を聞きました。また、授業を視察し、子供たちとも交流しました。



滋賀県庁訪問
(三日月知事及びギマラインスさんと)



愛荘町訪問(有村町長と)



サンタナ学園訪問

(3) 林大使のマット・グロツソ・ド・スール州公式訪問（3月25～26日）

3月25～26日、林大使は2回目となるマット・グロツソ・ド・スール（MS）州を公式訪問した。

25日、林大使は、MS連邦大学を訪問し、トゥリン学長と学術交流、国費留学生、日本語普及等につき協議した。続いて、カンポ・グランデ沖縄県人会館を訪問し、エドゥアルド・カナシロ同会館会長始め代表者と意見交換を実施した。その後、サカイノカンポ・グランデ野球協会会長の案内の下、同協会所有の野球場を視察した。続いて、カンポ・グランデ日伯文化体育協会（AECNB）を訪問し、マリア・シロス会長他と日・MS州関係につき意見交換を実施した。その後、リエデルMS州知事を表敬し、経済、観光、環境分野において高いポテンシャルを有する同州と日本の関係促進や来年2025年の日伯外交樹立130周年等における協力関係強化につき意見交換を実施した。夜には、MS州工業連盟（FIEMS）を訪問し、ロンジェンFIEMS会長はじめ、同席したりエデル知事、日系社会代表等と夕食を共にしながら、日伯関係やブラジル内政につき意見交換を実施した。



MS連邦大学訪問



沖縄県人会館訪問



リエデル州知事表敬



FIEMS 訪問

26日は、ブラジルで初めて設立されたカンポ・グランデ市の女性のための支援施設である「ブラジル女性の家（CMB:Casa da Mulher Brasileira）」を訪問し、カルラ・ステファニーニ/MS州女性課長始め関係者約30名と意見交換を行った。林大使からはDV対策を含めた日本の女性政策を紹介するとともに、女性分野における日伯協力案件を紹介した。続いて、女性・子ども・青年専用サービスセンター（CEAMCA:Centro Especializado de Atendimento à Mulher, à Criança e ao Adolecente em Situação de Violência)を視察した。その後、沖縄そばで有名な中央市場を視察し、アルヴィーラ・ソアレス中央市場協会会長と意見交換を実施した。最後に、州議会を訪問し、ジェルソン・クラロ議長、同席したロベルト・ハシオカ州議と、日・MS州関係につき意見交換を実施した。



「ブラジル女性の家」訪問



州議会訪問

今回の林大使によるMS州訪問は、前回2022年11月の訪問のフォローアップに加え、新たに、日系社会が大きな存在を示す同州の重要性を再確認する機会となった他、観光、農業、環境ポテンシャルの高い同州における経済貿易関係強化の文脈で、日本の更なる関係強化の潜在性が示される重要な機会となった。

4. 大使館からのお知らせ

(1) 在伯公館 SNS リンク一覧

在ブラジル大使館をはじめ各総領事館及び領事事務所では、SNS にて文化イベントを含め最新情報等を随時更新しています（以下リンク先をご参照ください）。

在ブラジル大使館 : [facebook](#) [instagram](#) [YouTube](#)
在ベレン領事事務所 : [facebook](#)
在マナウス総領事館 : [facebook](#)
在レシフェ総領事館 : [facebook](#) [instagram](#)
在リオデジャネイロ総領事館 : [facebook](#) [instagram](#) [YouTube](#)
在サンパウロ総領事館 : [facebook](#) [YouTube](#)
在クリチバ総領事館 : [facebook](#) [Instagram](#) [YouTube](#)

(2) 外務省 海外安全ホームページ

(ア) 各国の危険情報や安全対策等海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点を公開しています。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(イ) 各公館で四半期毎に「海外安全対策情報」を公開しています。在伯大使館の情報（令和5年度第3四半期）は以下のリンク先から。

https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/kaigai_anzen_taisaku.html

(ウ) 各在伯公館が「在外邦人向け安全の手引き ブラジル」を作成し公開しています。

https://www.anzen.mofa.go.jp/manual/brazil_manual.html

(3) ブラジル渡航情報

(ア) 危険情報

最新更新日：2023年12月6日

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspotazardinfo_259.html

以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっています。

- ・ブラジリア連邦区
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏
- ・アマゾナス州大マナウス圏
- ・ロライマ州北部
- ・パラ州大ベレン圏
- ・ペルナンブーコ州大レシフェ圏
- ・バイーア州大サルバドール圏

- ・セアラ州大フォルタレーザ圏
- ・パラナ州大クリチバ圏
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市

(イ) 安全対策基礎データ

最新更新日：2023年8月10日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え
査証、出入国審査及び新型コロナウイルス関連情報や大使館、総領事館の緊急連
絡先を公開しています。

(ウ) テロ・誘拐情勢

最新更新日：2023年4月11日

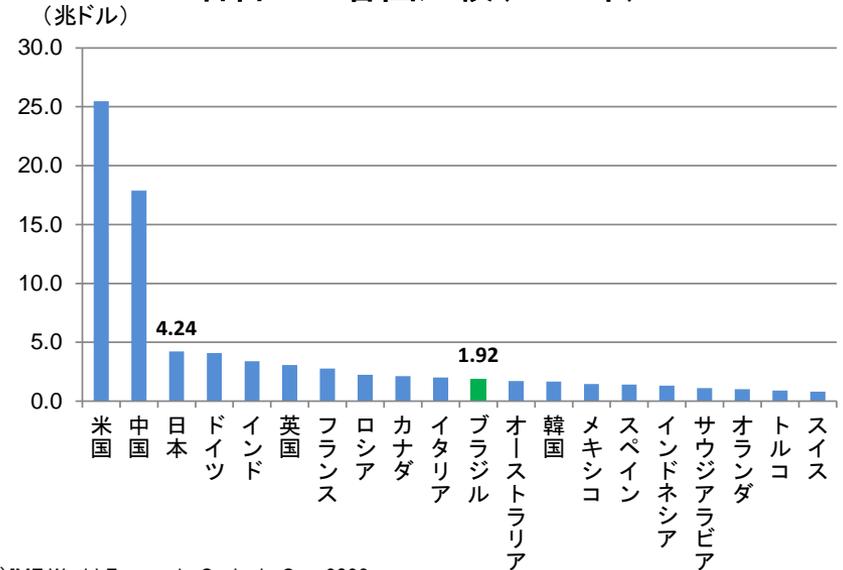
https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html

ブラジル経済・二国間経済関係概観

1. 経済構造

1. 人口約2億300万人、面積約851万km²(2022年国勢調査)
2. 世界第11位の経済規模(名目GDP約1.92兆ドル(2022年):日本の約45%)。一人当たりGDP(約9,455ドル(2022年))は、日本の約28%。
3. 世界有数の農業・資源国であるが、産業別国内総生産(GDP)額では第三次産業(サービス業)が高いウェイトを占めている。
4. GDPを需要項目別でみると、家計消費や総固定資本形成(投資)といった内需が成長に寄与している。

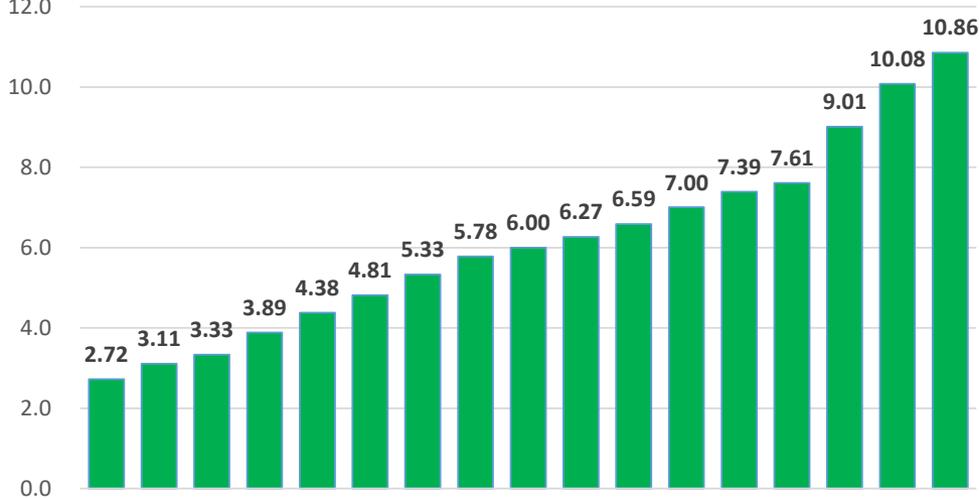
名目GDP各国比較(2022年)



(出典)IMF World Economic Outlook, Oct, 2023

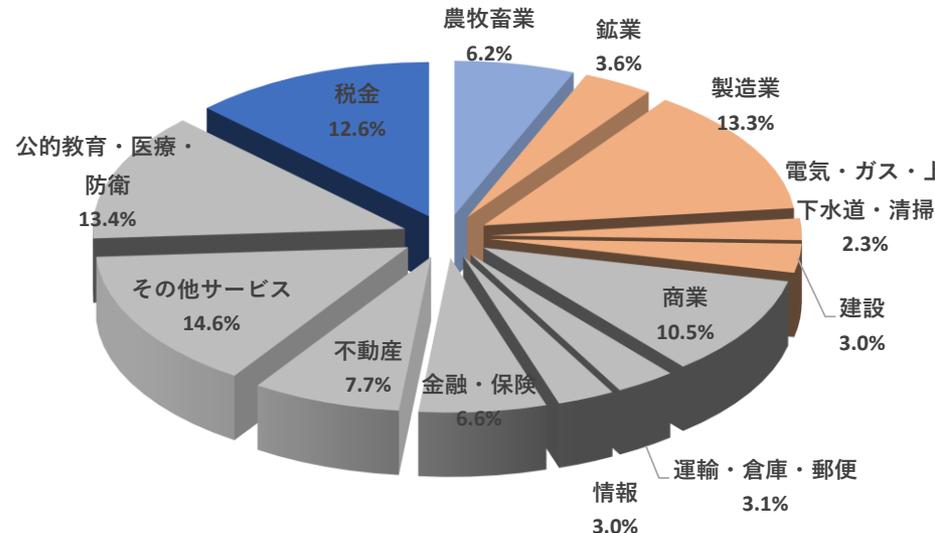
名目GDPの推移

(兆リアル)



(出典)伯地理統計院 (IBGE)

名目GDPの産業別構成比(2023年)



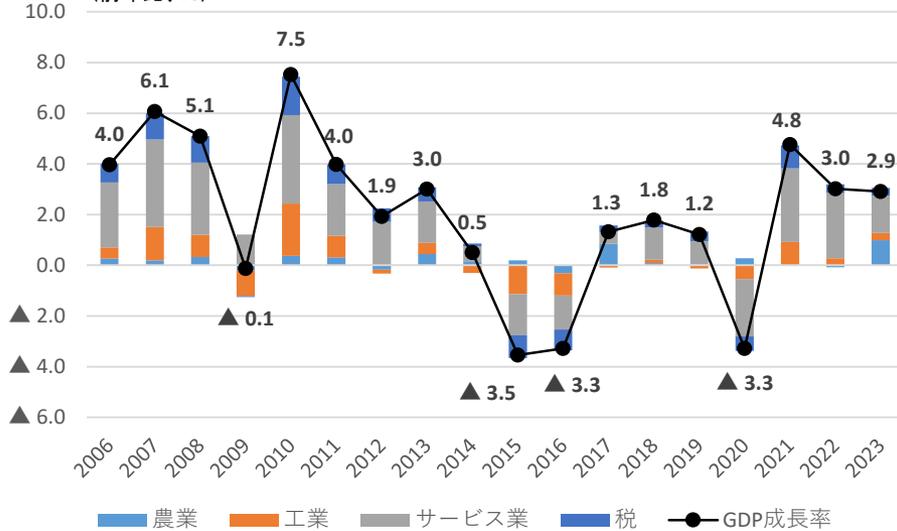
(出典)伯地理統計院 (IBGE)

II. 経済の現状

ブラジル地理統計院(IBGE)が3月に発表した2023年の実質GDP成長率は前年比2.9%(3年連続のプラス)、また同年第4四半期は前期比0.0%(2四半期連続の横ばい)、前年同期比+2.1%(12四半期連続のプラス)となった。

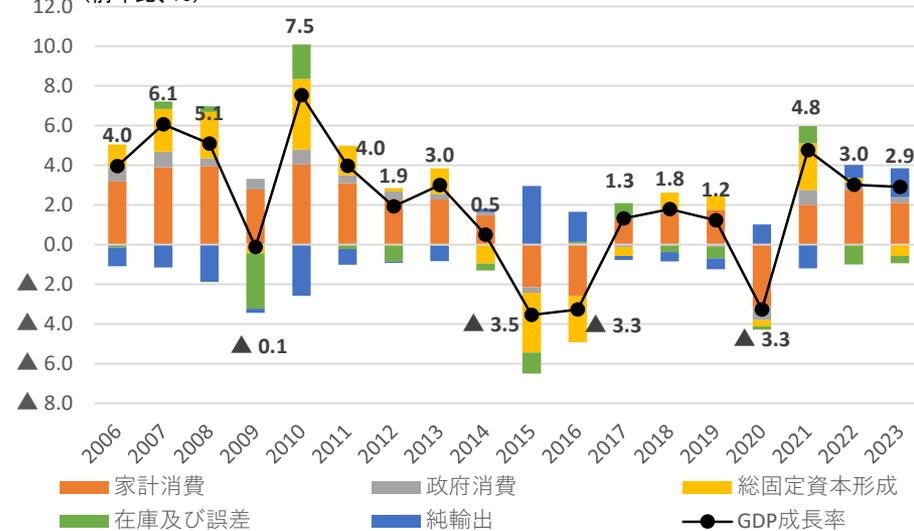
実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(暦年)

(前年比、%)



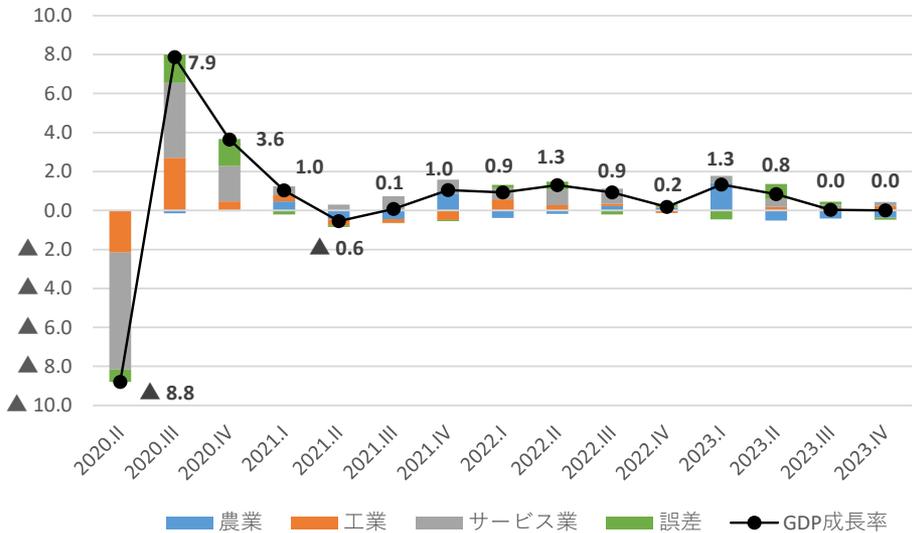
実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(暦年)

(前年比、%)



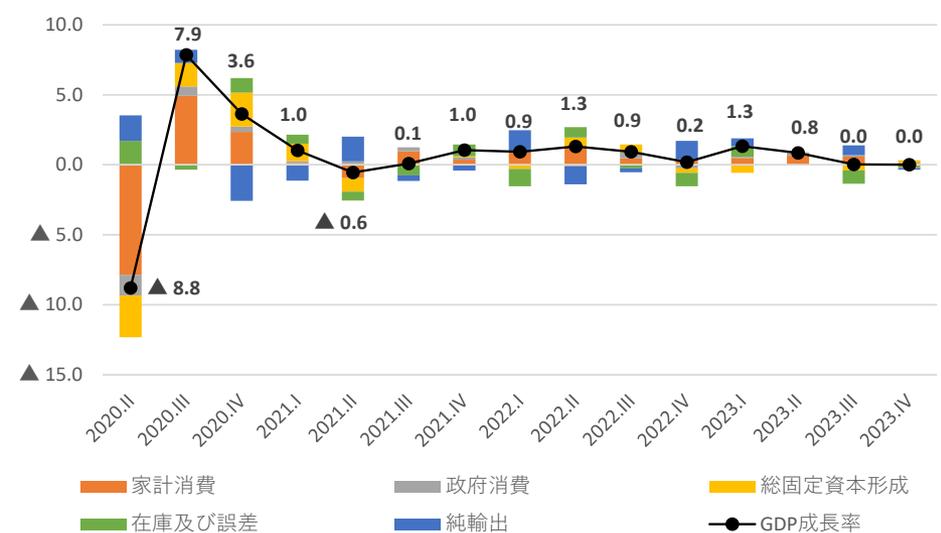
実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(四半期)

(季節調整済み、前期比、%)



実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(四半期)

(季節調整済み、前期比、%)



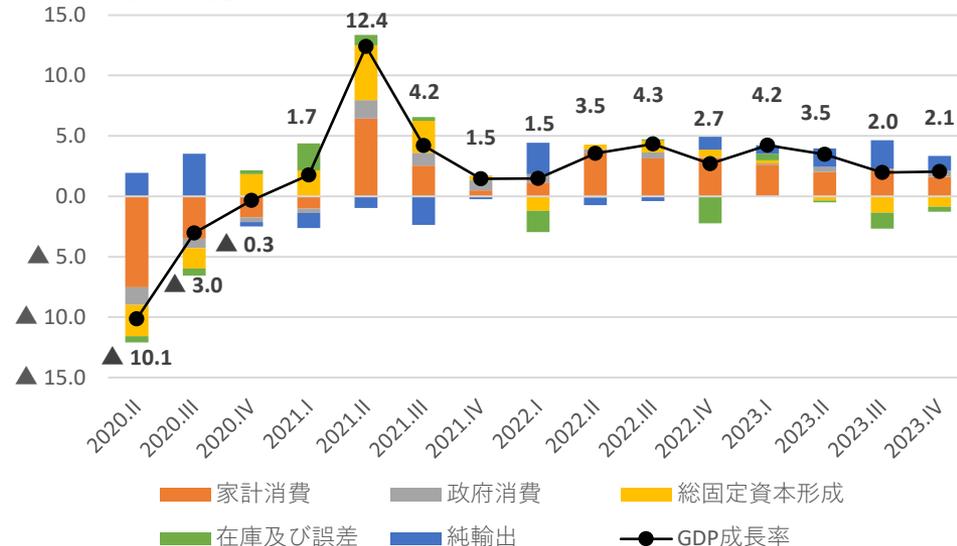
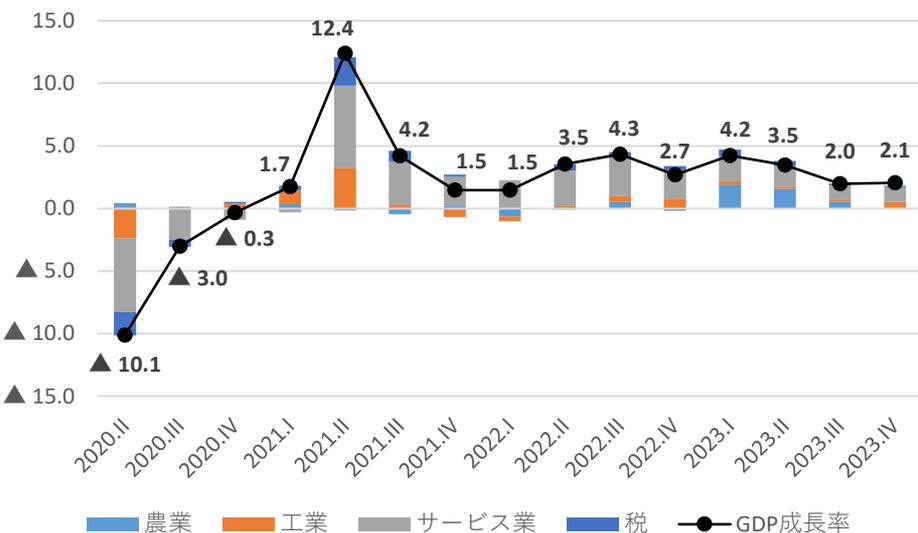
※寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、「誤差」、「在庫及び誤差」はGDP全体から各項目を除いたもの。(出典) 伯地理統計院(IBGE) 2

実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(四半期)

実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(四半期)

(前年同期比、%)

(前年同期比、%)



※寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、「在庫及び誤差」はGDP全体から各項目を除いたもの。(出典)伯地理統計院(IBGE)

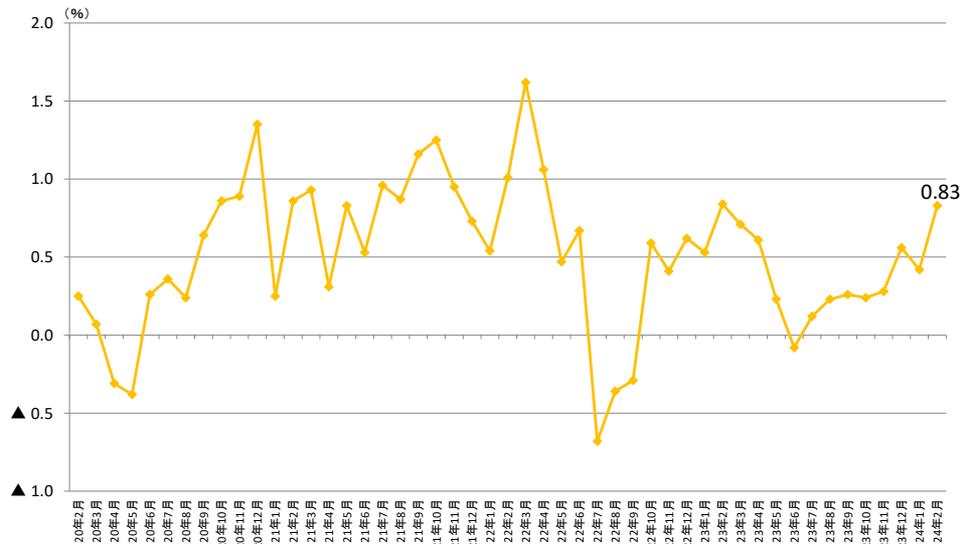
《各機関によるGDP成長率見通し》

	2024	2025
IMF (2024年1月)	+1.7%	+1.9%
伯財務省 (2024年1月)	+2.2%	-
伯中銀 (2023年12月)	+1.7%	-
伯中銀Focus (2024年2月23日)	+1.75%	+2.00%

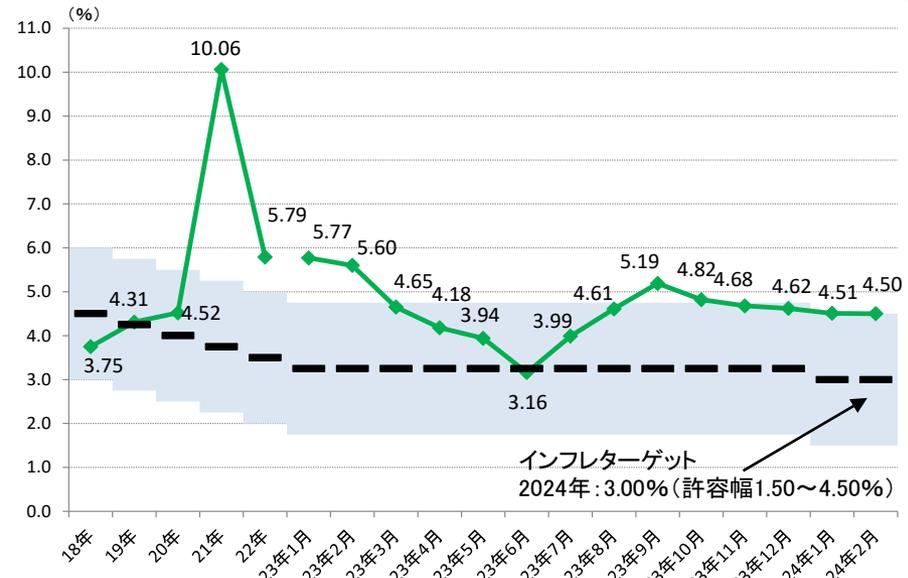
物価の動向と政策金利

2月の拡大消費者物価指数(IPCA)は前月比+0.83%、12か月累計では+4.50%となった。

拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の推移(各月)



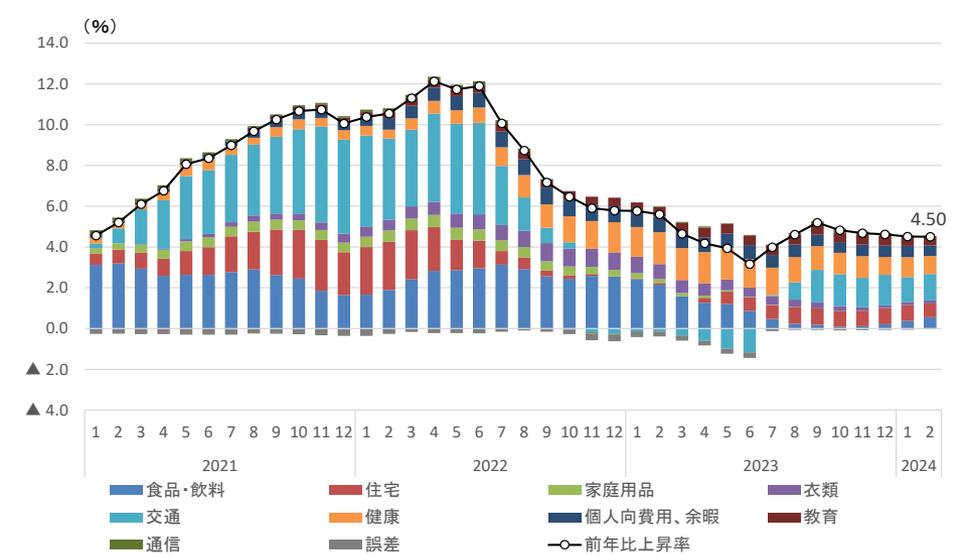
拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の推移(12か月累計)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

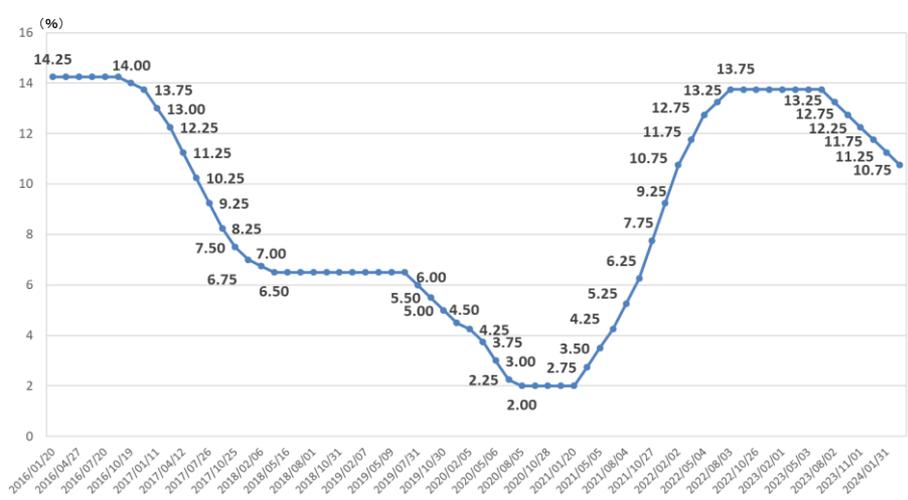
(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の項目別寄与度



政策金利の推移(2016年～)

次回の伯中央銀行金融政策委員会 (Copom) は5月7日及び8日に開催予定。

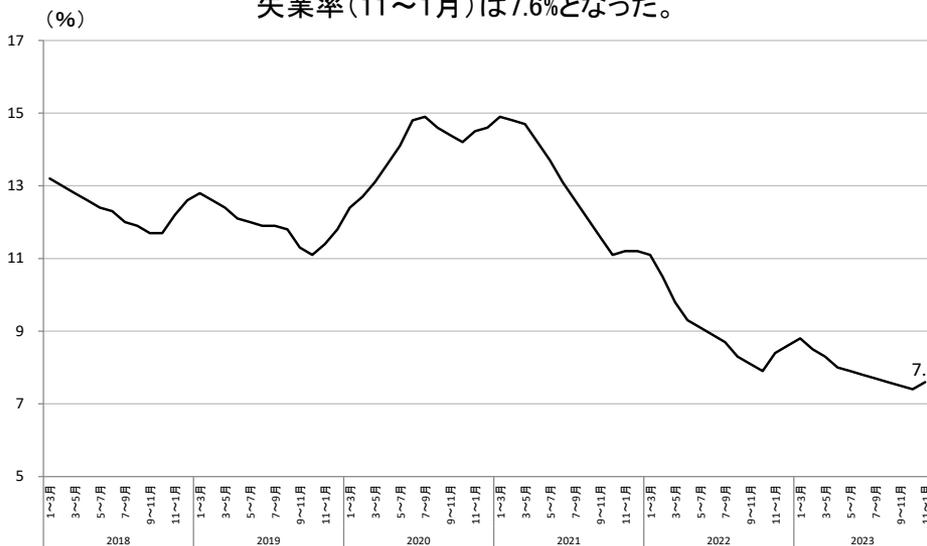


※寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

労働市場、消費、生産、財政収支の動向

失業率の推移(3か月移動平均)

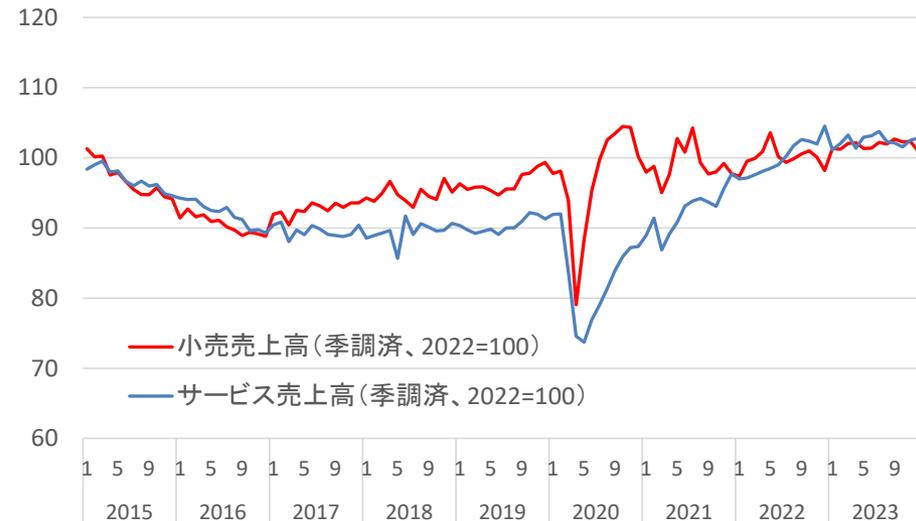
失業率(11~1月)は7.6%となった。



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

小売・サービス売上高指数の推移(月次)

小売売上高(1月)は前月比+2.5%、前年同月比+4.1%となった。サービス売上高(12月)は前月比+0.9%、前年同月比▲2.0%、2023年では前年比+2.3%となった。

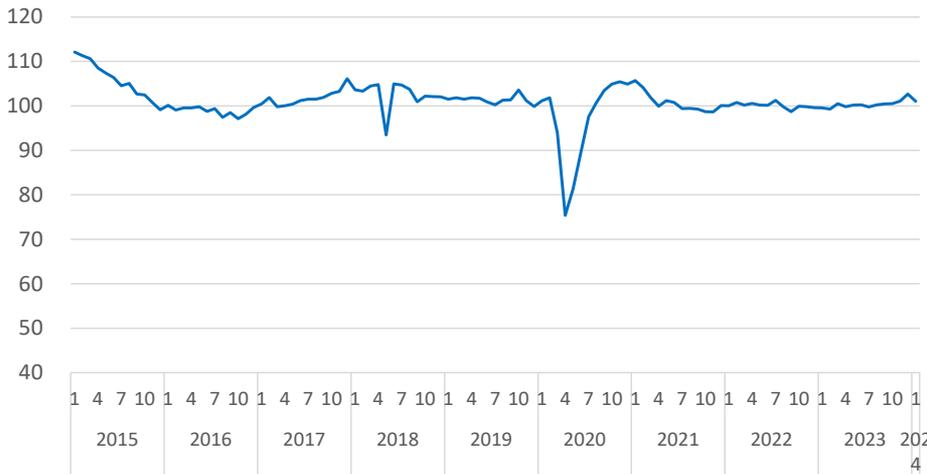


(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

鉱工業生産指数の推移(月次)

鉱工業生産(1月)は前月比▲1.6%、前年同月比+3.6%となった。

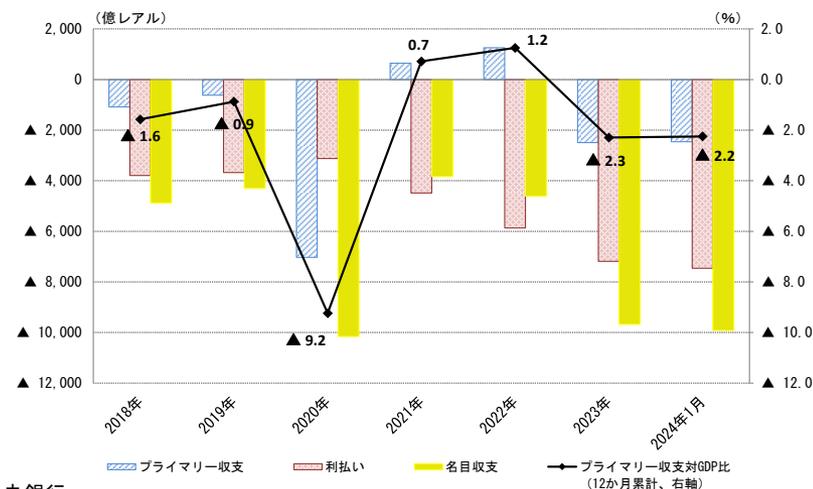
(2022年=100、季調済)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

財政収支の推移(12か月累計)

公的部門(連邦政府、地方政府、公営企業)の2024年1月のプライマリ収支(税収等と政策的経費の収支)は▲2,460億レアルの赤字、利払い費は▲7,459億レアルで、これらを合計した名目収支は▲9,919億レアルとなった。



(出典) 伯中央銀行

国際収支の動向

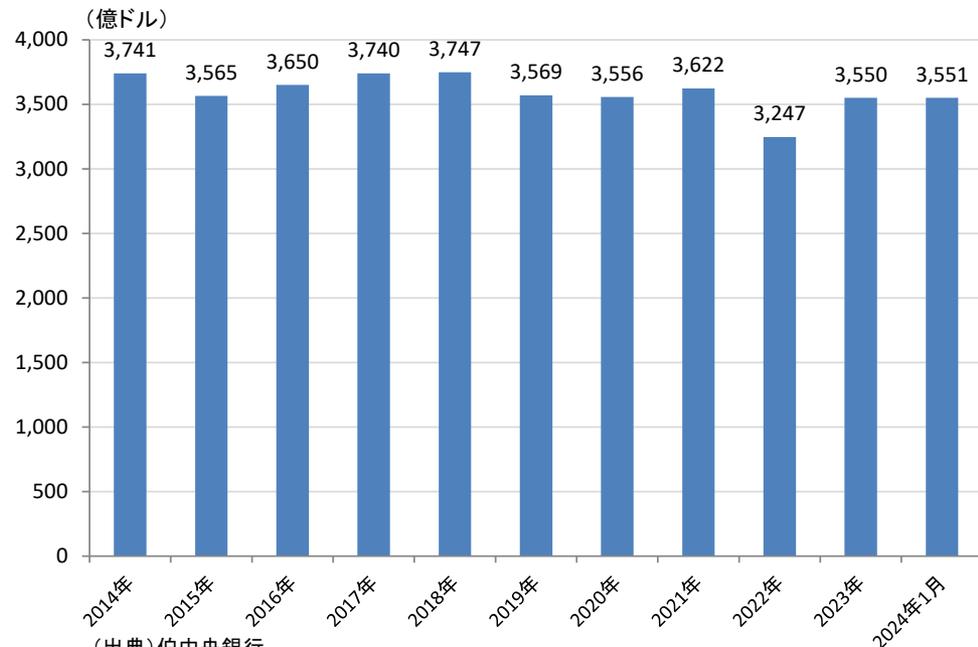
国際収支

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年 1月
経常収支	▲ 282	▲ 464	▲ 483	▲ 286	▲ 51
貿易収支	324	364	442	806	44
サービス収支	▲ 247	▲ 270	▲ 396	▲ 376	▲ 33
第1次所得収支	▲ 383	▲ 590	▲ 565	▲ 724	▲ 63
第2次所得収支	23	32	37	9	1
資本移転収支	41	2	2	3	0
金融収支	▲ 163	▲ 502	▲ 468	▲ 296	▲ 47
直接投資	▲ 413	▲ 302	▲ 413	▲ 337	▲ 61
対外直接投資	▲ 35	162	334	283	27
対内直接投資	383	464	746	620	87
証券投資	129	▲ 79	29	-66	-75
金融派生商品	54	▲ 10	▲ 20	▲ 80	4
その他投資	214	▲ 251	9	▲ 26	76

(億ドル)

(出典) 伯中央銀行

外貨準備高



(出典) 伯中央銀行

外国直接投資(資本参加分)流入額

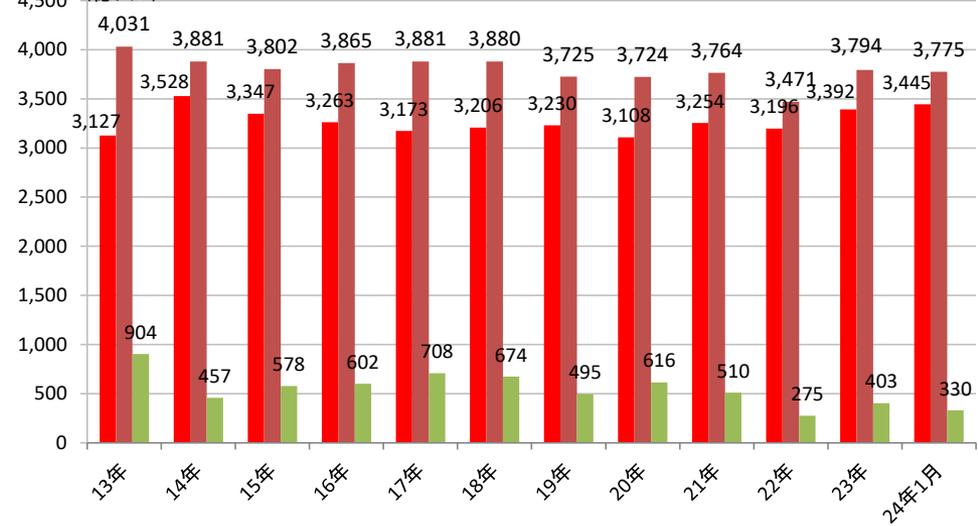
(億ドル)



(出典) 伯中央銀行 ※貸付は除く

対外債務・債権収支

(億ドル)



(出典) 伯中央銀行

■ 対外債務残高 ■ 対外債権残高 ■ 対外債務・債権収支

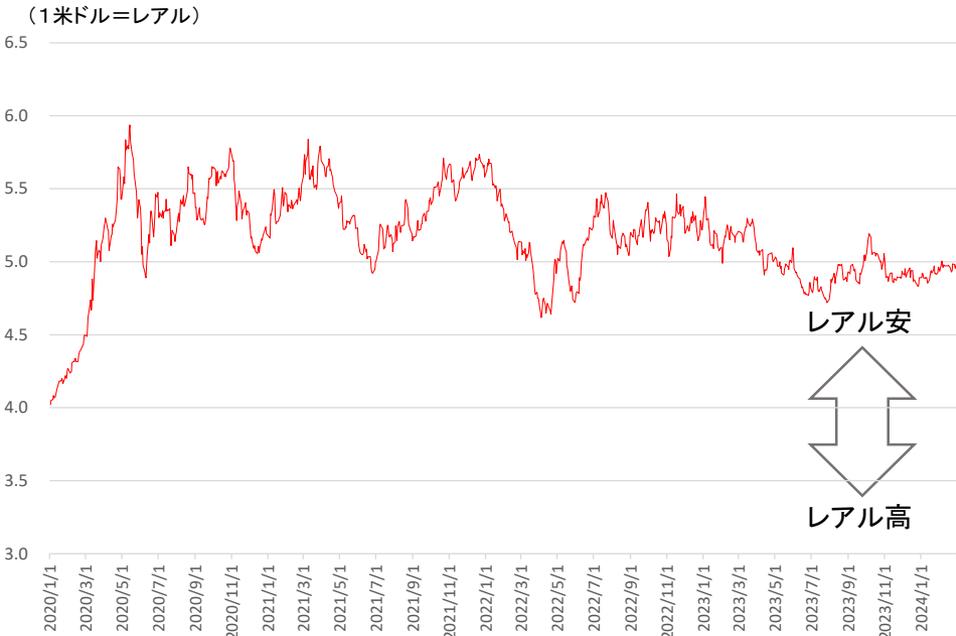
為替・株価の推移

月の為替市場は4.93～5.01リアル/ドルで推移。

月の前半は4.93～5.01リアル/ドルで推移。海外の金融政策の見通しを材料に上下した後、概ね横ばいで推移した。

月の後半は4.93～4.98リアル/ドルで推移。伯経済や海外の金融政策の見通し等を材料に上下し概ね横ばいで推移した。

為替の推移(対米ドル)



(出典) 伯中央銀行

月の株式市場は127,018～131,689ポイントで推移。

月の前半は127,018～130,416ポイントで推移。内外の金融政策の見通しや国内経済の動向等を材料に上下し概ね横ばいで推移した。

月の後半は128,726～131,689ポイントで推移。資源価格の動向や海外経済の動向等を材料に概ね上昇傾向で推移した。

株価指数(Ibovespa)の推移



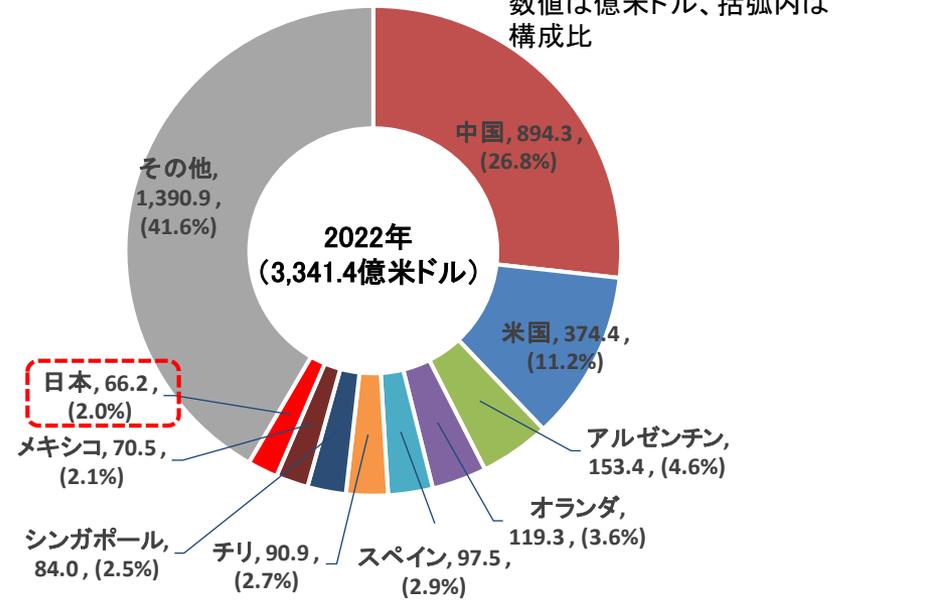
(出典) B3

Ⅲ. 貿易動向

ブラジルの貿易は、輸出、輸入ともに国別では中国、米国が、経済圏別ではEUが上位に占めている。2023年においては、日本は貿易相手国として輸出で9位、輸入で10位となった。

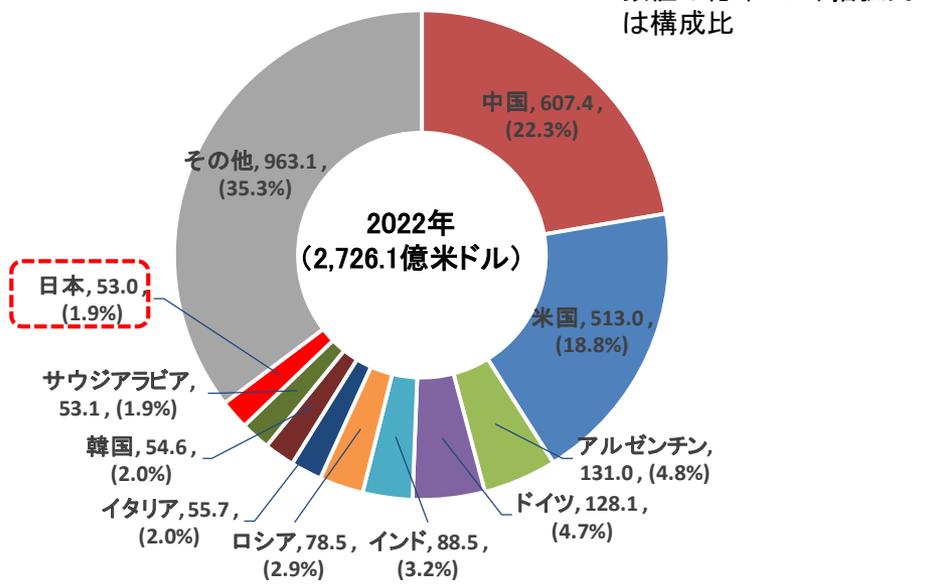
輸出額と構成比(国別)

数値は億米ドル、括弧内は構成比



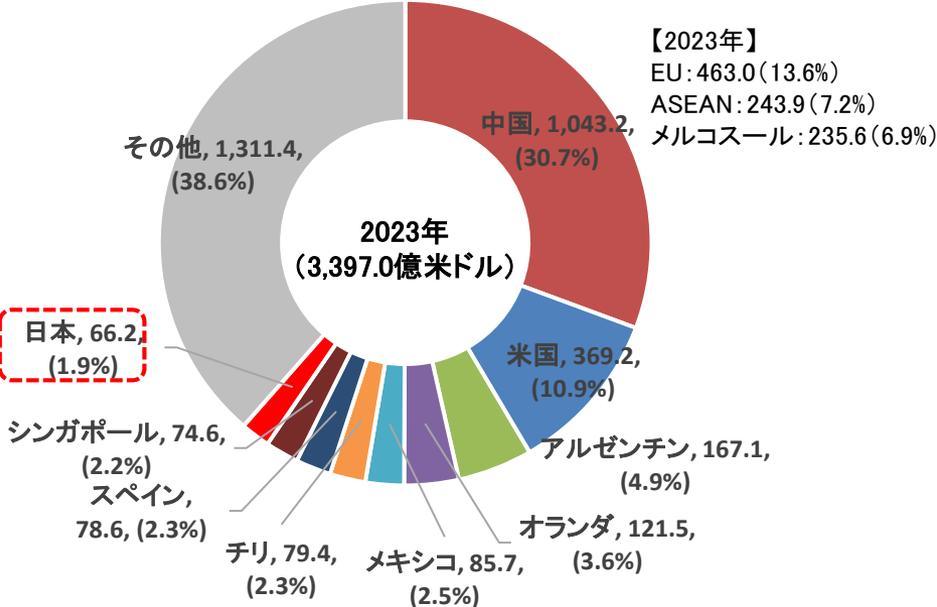
輸入額と構成比(国別)

数値は億米ドル、括弧内は構成比



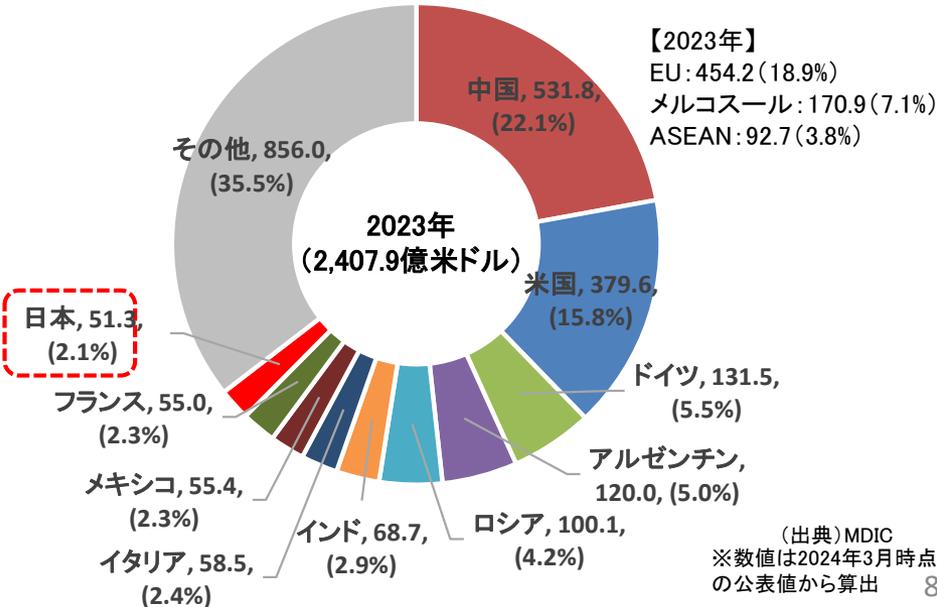
2023年 (3,397.0億米ドル)

【2023年】
EU: 463.0 (13.6%)
ASEAN: 243.9 (7.2%)
メルコスール: 235.6 (6.9%)



2023年 (2,407.9億米ドル)

【2023年】
EU: 454.2 (18.9%)
メルコスール: 170.9 (7.1%)
ASEAN: 92.7 (3.8%)

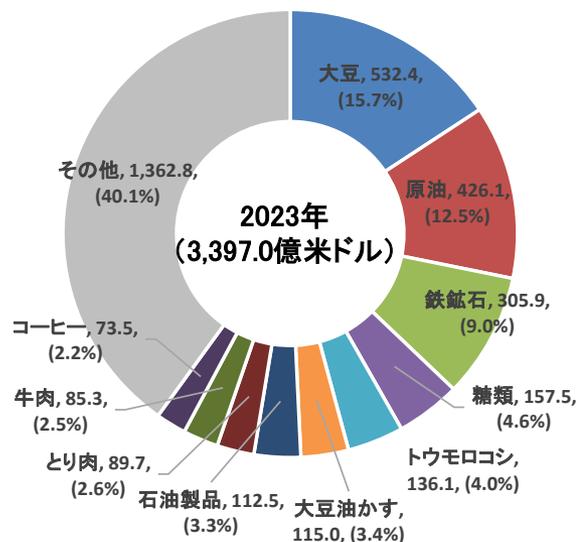


(出典) MDIC
※数値は2024年3月時点の公表値から算出

主要輸出品目は資源(原油、鉄鉱石等)、食品(大豆、トウモロコシ、糖類、肉類等)。主要輸入品目は石油製品、肥料、自動車関連、医療関連を中心に幅広い品目にわたっている。

ブラジルの主要輸出品目と主要相手国

数値は億米ドル、括弧内は構成比



【大豆】

	億米ドル	構成比(%)
全体	532.4	100.0
中国	389.2	73.1
アルゼンチン	20.3	3.8
スペイン	14.6	2.7
タイ	13.9	2.6
トルコ	9.8	1.8

【鉄鉱石】

	億米ドル	構成比(%)
全体	305.9	100.0
① 中国	196.8	64.3
② マレーシア	17.3	5.7
③ <u>日本</u>	12.3	4.0
④ バーレーン	11.0	3.6
⑤ オマーン	8.5	2.8

【原油】

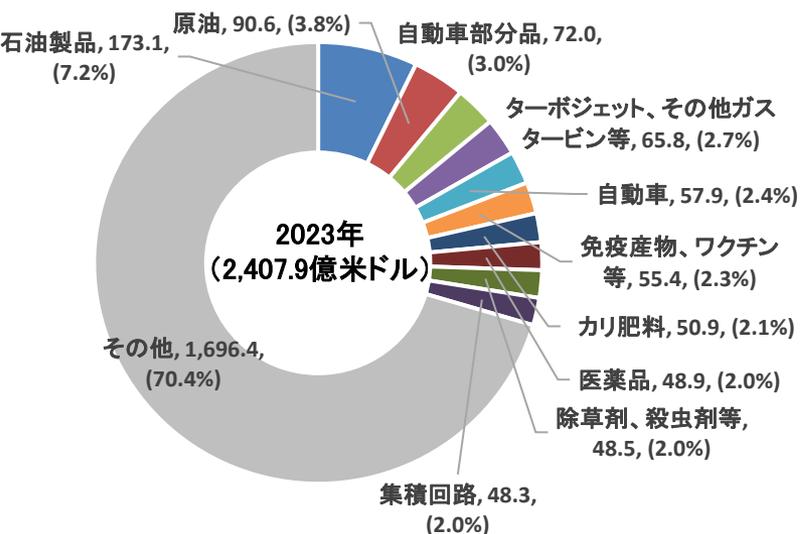
	億米ドル	構成比(%)
全体	426.1	100.0
① 中国	197.8	46.4
② 米国	46.8	11.0
③ オランダ	35.4	8.3
④ スペイン	31.9	7.5
⑤ チリ	31.1	7.3

【糖類】

	億米ドル	構成比(%)
全体	157.5	100.0
① 中国	19.1	12.1
② インド	12.2	7.8
③ アルジェリア	9.3	5.9
④ インドネシア	8.2	5.2
⑤ サウジアラビア	8.1	5.1

ブラジルの主要輸入品目と主要相手国

数値は億米ドル、括弧内は構成比



【石油製品】

	億米ドル	構成比(%)
全体	173.1	100.0
① ロシア	52.6	30.4
② 米国	48.0	27.7
③ オランダ	13.8	8.0
④ UAE	9.9	5.7
⑤ スペイン	9.4	5.4

【自動車部分品】

	億米ドル	構成比(%)
全体	72.0	100.0
① 中国	9.9	13.7
② <u>日本</u>	9.4	13.0
③ ドイツ	7.0	9.7
④ メキシコ	6.9	9.6
⑤ 米国	5.6	7.8

【原油】

	億米ドル	構成比(%)
全体	90.6	100.0
① サウジアラビア	19.7	21.8
② 米国	16.0	17.7
③ アルジェリア	13.7	15.1
④ ガイアナ	9.8	10.9
⑤ アルゼンチン	8.5	9.4

【ターボジェット等】

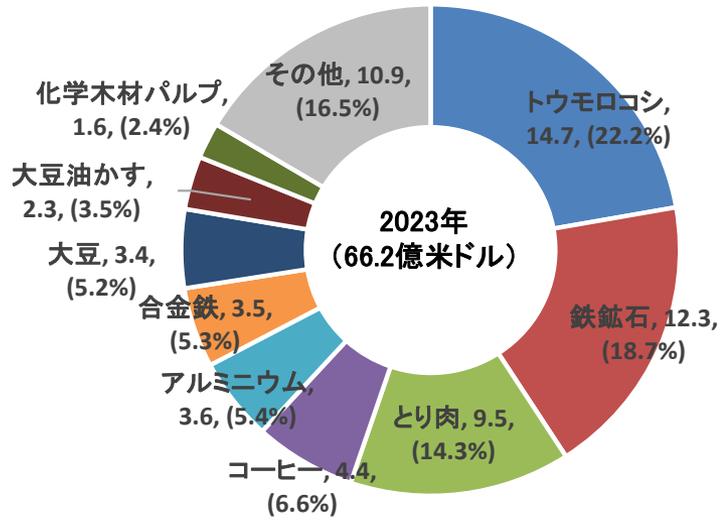
	億米ドル	構成比(%)
全体	65.8	100.0
① 米国	48.6	73.8
② フランス	9.2	14.0
③ カナダ	1.4	2.1
④ ドイツ	1.3	2.0
⑤ トルコ	1.3	1.9

対日貿易

対日貿易においては、主要輸出品目は資源（鉄鉱石、アルミニウム等）や食品（トウモロコシ、肉類、コーヒー、大豆等）、主要輸入品目は自動車関連、有機化学品、電子部品、医療関連等。

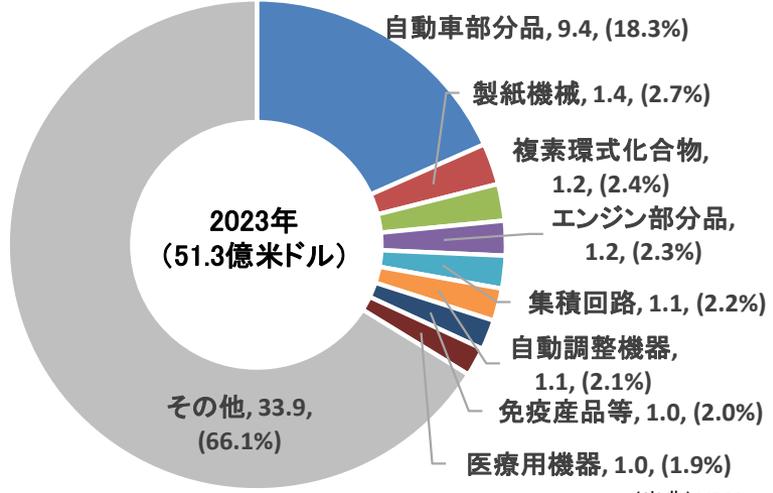
ブラジルの対日本主要輸出品目

数値は億米ドル、括弧内は構成比



ブラジルの対日本主要輸入品目

数値は億米ドル、括弧内は構成比



(出典) MDIC
※数値は2023年3月時点の公表値から算出

ブラジルの対日本主要輸出品目の日本側から見たブラジルの構成比(2023年)

	億円	構成比 (%)
全体	6,889.3	100.0%
①アメリカ合衆国	3,285.9	47.7%
② <u>ブラジル</u>	2,939.9	42.7%
③アルゼンチン	304.8	4.4%
④南アフリカ共和国	273.1	4.0%
⑤ウクライナ	30.5	0.4%

	億円	構成比 (%)
全体	16,194.8	100.0%
①オーストラリア	7,989.1	49.3%
② <u>ブラジル</u>	5,685.9	35.1%
③カナダ	1,311.2	8.1%
④南アフリカ共和国	628.8	3.9%
⑤アメリカ合衆国	178.0	1.1%

	億円	構成比 (%)
全体	1,923.7	100.0%
① <u>ブラジル</u>	1,252.5	65.1%
②タイ	634.1	33.0%
③アメリカ合衆国	34.1	1.8%
④トルコ	1.2	0.1%
⑤マレーシア	0.5	0.0%

	億円	構成比 (%)
全体	2,504.3	100.0%
① <u>ブラジル</u>	737.4	29.4%
②ベトナム	462.4	18.5%
③コロンビア	315.4	12.6%
④グアテマラ	177.5	7.1%
⑤エチオピア	133.0	5.3%

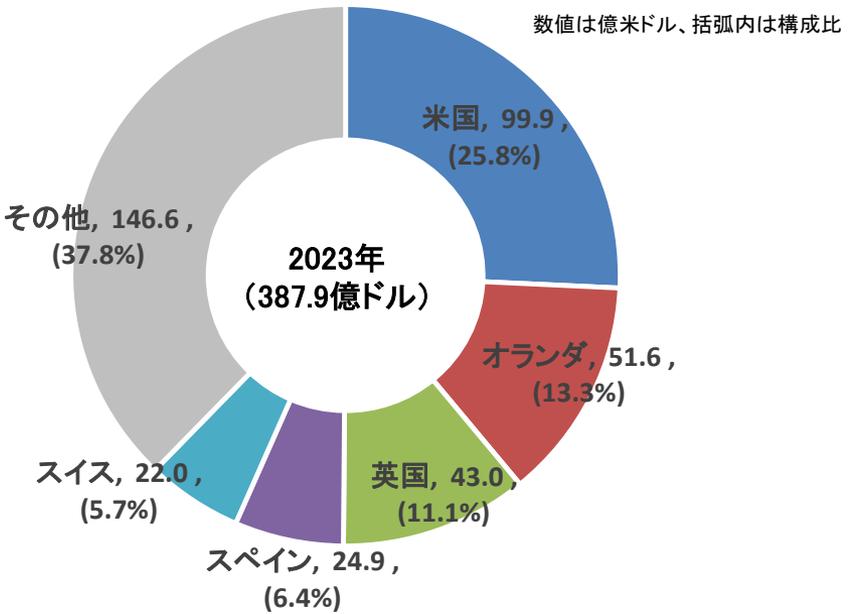
	億円	構成比 (%)
全体	8,856.0	100.0%
①中国	1,318.6	14.9%
②アラブ首長国連邦	1,253.8	14.2%
③オーストラリア	1,121.7	12.7%
④ <u>ブラジル</u>	525.5	5.9%
⑤インド	517.3	5.8%

	億円	構成比 (%)
全体	3,489.7	100.0%
①カザフスタン	782.5	22.4%
② <u>ブラジル</u>	509.3	14.6%
③中国	359.2	10.3%
④南アフリカ共和国	353.7	10.1%
⑤マレーシア	311.7	8.9%

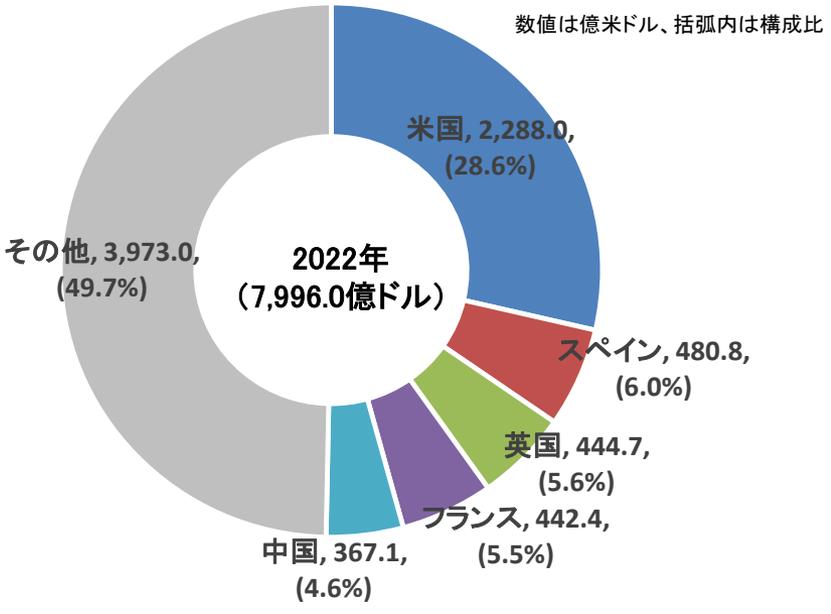
(出典) 財務省(日本)
※数値は2023年3月末時点の公表値から算出10

IV. 日伯投資

対伯直接投資(フロー、資本参加分)の国別構成比

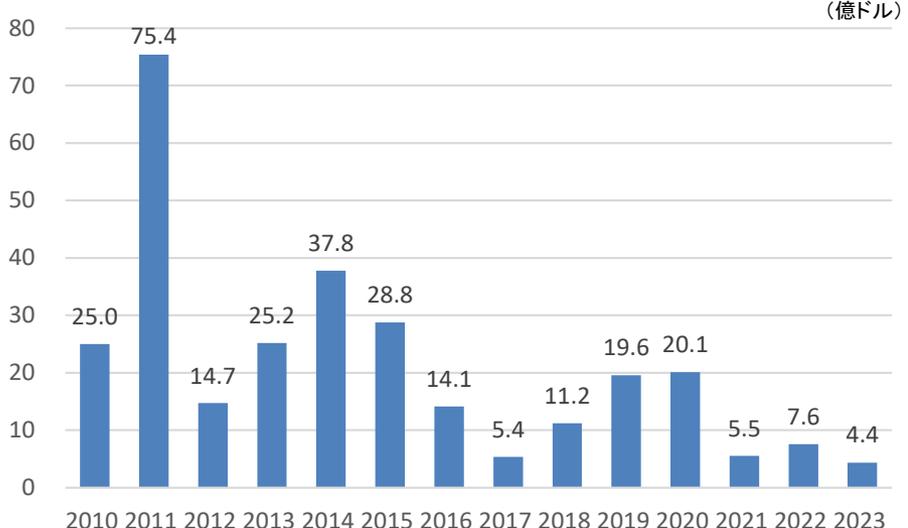


対伯直接投資(ストック、資本参加分)の国別構成比



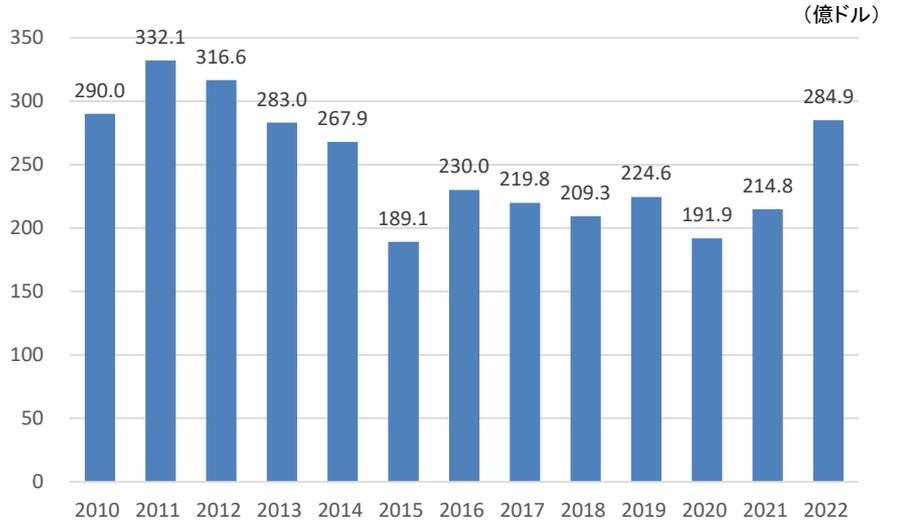
日本の対ブラジル直接投資(フロー、資本参加分)の推移

2023年: 4.4億ドル(構成比1.1%)、15番目の規模



日本の対ブラジル直接投資(ストック、資本参加分)の推移

2022年: 284.9億ドル(構成比3.6%)、8番目の規模



(出典) 伯中央銀行「Ingressos de investimentos diretos no país - Participação no capital - Distribuição por país imediato」

(出典) 伯中央銀行「Investimento direto no País - Participação no capital - Posição - distribuição por país do controlador final」2024年3月時点で公表されているのは2022年分まで。